



教師用キャリア・シート【H28】2年

身につけさせたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心をもち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	自分のできることや得意なことを増やす	上級生や上手な子を手本にして挑戦する	自分で考えたり決めたりしたことを最後までがんばる	自分の気持ちや考えを伝えて、協力して活動する	自分の役割がわかり、活動に取り組む
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで他者とかかわり、理解する時間</li> <li>ねらいを明確にした異学年交流</li> <li>地域とつながる学習活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容 指導単元	生活「うごくうごくわたしのおもちゃ」(9～10月)	国語「お話のさくしゃになろう」(10～11月)	体育「表現・リズム遊び」(9月)	生活「つたわるひろがるわたしの生活」(1月)	学活「係活動しよう」(9～12月)
キャリア・ログ 手立てと児童の姿の記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆見本となるおもちゃや教科書を参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を考えて用意する。</li> <li>●「いろいろなおもちゃを工夫して作り、1年生を楽しませるおもちゃまつりをする」というゴールのイメージをもてた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「自分で作ったお話を絵本にして図書室に置いて、たくさんの人に読んでもらう」という目標をもつ。(「自分事」として課題をとらえる動機づけ)</li> <li>●「みんなが読みたくなるようなお話を書く。」「楽しいお話をつくる。」というゴールのイメージをもった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動会で「ハイサイおきなわ」を踊ることを知り、どんなダンスかDVDを見てわかる。</li> <li>●昨年のダンスのように「お家の人にほめられるくらいじょうずにおどれるようになる」というゴールをイメージできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1学期と2学期に行った町探検の行き先やそこでかかわった人のことを、これまでの記録カードや作品など見ながら振り返り、自分の心に残った地域の出来事を思い出す。</li> <li>●町探検で調べたことをまとめた掲示物を熱心に見ながら、町探検で調べたことを思い出していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎日の学級での生活に必要な、いわゆる当番活動に加えて、2学期は新たに、学級での生活を豊かにするための係活動を「〇〇会社」と名付け、担当する係(当番活動と会社)を決める。</li> <li>●新たな取組である「〇〇会社」の活動には特に興味・関心が高く、やる気に溢れる様子が見られた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆試行錯誤しながら、自分のおもちゃを作り、動かして遊んだり、友達と競争したりする。</li> <li>●「うまく動かない」「材料が足りない」などの困難を感じながらも意欲的に制作を進めていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆3枚の絵を見て、設定を決め、メモを書く。(探究心をくすぐる場や時間)</li> <li>●絵の順序を決め、登場人物の名前を考えるなど、意欲的に活動していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆最初の部分の踊りを知り、練習をする。</li> <li>●難しく感じたダンスでも、いくつかのパターンを覚えられればできそうだという見通しをもてた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の心に残った地域の出来事について、自分の伝えたいこと、伝える相手、伝える方法を決める。</li> <li>●ワークシートに、これまでの町探検で心に残っていること・2年生以外の人に伝えたいこと及び伝えたい相手を書き出し、発表し合った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各係の活動に対して肯定的な意見を出し合うとともに、自分の活動が学級のために役立っているか、協力してできているかについて振り返る。(定期的の実施)</li> <li>●新たな取組である「〇〇会社」については、うまく企画ができなかったり、準備不足で楽しめなかったりする失敗を繰り返す様子が部分的に見られた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆友達と比べたり、教え合ったりして、試行錯誤しながら、さらに自分のおもちゃの機能が高まるように改良する。</li> <li>●輪ゴムの数を増やしたり材料をかたくて丈夫なものに変えたりするなどの改良を重ねる姿が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「初め」「中」「終わり」の3つの場面を書いて、友だちと読み合う。</li> <li>●友だちと作品を読み合い、友だちから「おもしろい」「すごい」と評価されたり、助言をもらって修正したりできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆めあてをもって、繰り返し練習をする。</li> <li>●覚えにくいところ、動きが難しいところがわかり、繰り返し練習に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の伝えたいことと、伝える相手に適した表現方法を考える。</li> <li>●「小野の町のことを、地域の人に伝える」というゴールをイメージし、ポスターや紙芝居で伝えたいという思いをもった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各係にしてほしい活動、改善してほしい活動について意見を出し合う。(定期的の実施)</li> <li>●友だちからの意見や担任の助言などを取り入れながら、もっと良い活動にしようと、図書資料などを活用する姿も見られるようになった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。</li> <li>●どのようにすると楽しめるか、ゲームの景品について何をを作るのかなどについて話し合えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆3年生からの感想やアドバイスをもとに、より上手なお話の書き方について考える。(さらに高い目標をめざす意欲付け)</li> <li>●場面の説明を増やすことや、字を丁寧に書くことなどのアドバイスのほか、「すごいね」「いいね」などのコメントも得られて、うれしい様子が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分たちの踊りを撮影した映像を見ることで課題を知り、さらに進んで練習に取り組む。</li> <li>●自分たちの踊る姿を撮影した動画を見て、上手く踊れていない部分や全体が揃っていない部分があることに気づいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝えるための作品(ポスターや紙芝居)の案を考える。</li> <li>●教科書の例を参考にしながら作品の案を考えることで、さらに詳しく調べたいことを明確にできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各係(会社)が企画した活動などを、学級全体で楽しむ。</li> <li>●失敗を重ねる中で各活動が質的により良いものになっていき、活動を楽しむ児童と楽しんでもらえて満足感を得る児童の両方の姿が見られるようになってきた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆おもちゃまつりのリハーサルを5年生に体験してもらい、おもちゃのつくりや遊び方などについてアドバイスをもらい、を招き遊びながらおもちゃを改良したり、さらに楽しくするためのルールを考えたりする。</li> <li>●5年生から「楽しかった」「よく動くおもちゃだね」というコメントをもらい自信をつけると同時に、おもちゃの作り方やルールについてのアドバイスをもらえて喜ぶ様子が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の作品を推敲し、修正を加える。</li> <li>●3年生からのアドバイスをもとに、加筆・修正をしたり、表紙を作り直したりできた。中には、続編や2作目を作る児童もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動会本番に向けて、上手になったことを確認し、上手くいかないところを重点的に練習して踊りを仕上げる。</li> <li>●入場やスタート時の態度や姿勢、細かい足の動きなど、さらに良いものにするための練習に繰り返し取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆作品をさらによいものにするため、地域の人に聞きたいことを決め、電話など訪問以外の方法で調べ、必要な情報を集める。</li> <li>●さらに詳しく知りたいことや確認したいことを電話でインタビューすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各係にしてほしい活動、改善してほしい活動について意見を出し合う。</li> <li>●活動が停滞していた係(会社)が動き出したり、当初の予定にはなかった取組を加えたりする様子が見られた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1年生に楽しんでもらうために、おもちゃまつり会場の準備をしたり、遊び方を説明する掲示物をつくったりする。</li> <li>●5年生からのアドバイスを生かして改良したり、ルールを説明する掲示物をつくったりしながら準備し、本番では1年生が楽しく遊ぶことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆完成したお話の絵本を図書室に置き、全校児童が読むことができるようする。</li> <li>●振り返りを行う。(自分の学びを振り返る「内省」の時間)</li> <li>●児童の感想「最初はうまくできなかったけれど、自分でお話を作って読んでもらいうれしかった」「たくさんの人に読んでもらってうれしい」「家でも作りたい」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動会当日の発表に対する保護者の感想を聞きながら振り返る。</li> <li>●お家の人から「上手だった」「かっこ良かった」という言葉ももらえ、達成感・充実感のある表情が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域に出かけ、ポスターなどの作品を手渡ししたり、掲示してもらったりして、自分の心に残った地域の出来事を伝える。</li> <li>●児童の感想「自分たちで作ったポスターをお店にはってもらって、地域の人に小野のよいところを見せられた」「お店の人と話ができて、小野の人に町のよいところを伝えられた」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各係(会社)が企画した活動などを、学級全体で楽しむ。</li> <li>●2学期の新たな取組である「〇〇会社」の活動は、形骸化することなく、どの会社も最後まで意欲的な取組が継続した。他の会社の活動にも興味をもち、「3学期は〇〇会社に入る」という声も聞くようになった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1年生を招待した「おもちゃまつり」を含めたこれまでの活動を振り返り、できるようになったことや感想などをキャリアシートに書く。</li> <li>●児童の感想「私たちのグループだけでこれだけのものが作れて自分でもびっくりした」「1年生を喜ばせることができてよかった」</li> </ul>				

キャリア・ショット  
最終的な児童の姿を写した一枚



教師用キャリア・シート【H28】3年

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心を持ち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	いろいろなことに興味をもち、好きなことに夢中になる	目標をはっきりとさせ、難しいことでも自分らしく挑戦する	失敗をおそれず、いろいろな方法で目標に向けて努力する	ほかの学年や地域の人とのつきあい方を知り、進んでかかわる	学級の一員として役割を果たし、人や学校に役立つことをする
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで他者とかかわり、理解する時間</li> <li>ねらいを明確にした異学年交流</li> <li>地域とつながる学習活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容指導単元	図工「ここがお気に入り」（12月）	総合「春の自ぜんに親しもう」（1学期）	体育「マット運動」（11月）	社会「古くから伝わるもの」（1月）	学活「上手な当番活動」（5月）
キャリア・ログ ◆手立て（視点） ●児童の姿の記録	◆手本となる作品をみる時間を設定する。 ●自分が作る作品のゴールをイメージすることができた。	◆春の自然について知っていることを出し合わせ、どんなことを調べたり、取り組みたいのか考えられるようにする。 ●たくさん興味を持った身の周りの自然の中から調べることを決め、調べることを楽しみに思い、やる気を持っていた。	◆学習の進め方や自分のできる技を確認させ、めあてを持たせる。（自分事として課題をとらえる動機付け） ●「自分のメダルをかくとくしよう」というテーマ設定をし、発表会をすることを知らせることで、学習への取り組みのめあてを持つことができた。	◆昔の道具に触れ、気付いたことを確認する時間をとる。 ●昔の道具に直接触れることで、様々な気付きをもつことができた	◆今までの経験を元に、当番活動のあり方について考える時間をとる。 ●学級の一員として役割を果たしていたか、4月からの係活動を振り返った。
	◆自分のことをふり振り返りながら、小さな自分を作るようにさせる。 ●自分の好きなものなど、特徴を思い起こすしながら作っていた。	◆調べたことをふり振り返り、自分の調べたいことが分かっているか確認する場を設ける。 ●調べていくごとに、もっと調べたいという意欲を持った。	◆「基本の技」の動き方や技のポイントを提示し、より上手にできるようにするとともに、「進んだ技」ができるように、めあてを持って協力して運動に取り組めるようにする。（課題達成に向けて。試行錯誤しながら取り組む時間） ●グループでお互いの技を見合い、学習カードを活用しながら練習に取り組んでいた。	◆昔の道具の使い方を知っている地域の方に、使い方を教えてもらう時間をとる。 ●地域の方との交流の時間が確保できず、教えてもらうことができなかった。	◆自分たちで実行できる方法を話し合う場を設ける。 ●自分の役割の大切さを感じ、当番を忘れずにしようとする意欲を持った。
	◆自分の目線から周りを見ることを通して、周りのこと・自分のことを考えさせる。 ●様々な場所を見回すことで、自分の好きなことなどをさらに考え、特徴に気付くことができた。	◆グループでまとめたものを発表し合い、共有する。 ●自分たちの調べたことを、うれしそうにまとめたり、友達に発表したりしていた。	◆技の動き方や技のポイントを知り、自分の力に合った発表会の技を選び、練習する場面を設定する。（活動の成果を確認する場面） ●今までの学習を振り返り、新たにできる技を取り入れた発表会の技を考えていた。	◆昔の道具と今の道具を比べ、くらしの移り変わりや生活の知恵を考える場を設定する。 ●今の道具の方が便利であるという思いをもった。	
	◆自分の目線から見た、身の回りのお気に入りの場所を見つけさせる。 ●自分の好きなものなど、特徴と関連付けながらお気に入りの場所を選んでいった。		◆自分の力に合った技を選び、発表会をする。（自分の学びをふり振り返る場面） ●上手にできない技もあったが、練習で取り組んだ技を自分で選んで発表することができた。		
	◆見つけたお気に入りの場所を「楽しくしたい」という思いが伝わる表現方法を考えさせる。				
	◆思い描いた「楽しい場所」を表現できるように、用具を準備する。 ●デジタルカメラを使い、自分の好きなものが伝わるように、撮影していた。				
	◆どのようなところがお気に入りなのか伝わるように、紹介する場を設定する。 ●大型モニターを使い、自分を含めたお気に入りの場所が分かるように、説明を加えながら紹介していた。				
キャリア・ショット 最終的な児童の姿を写した一枚	 <p>自分の好きな場所を自分なりの表現方</p>	 <p>調べたことをふり振り返り、自分の調べたいことが分かっているか確認する姿</p>	 <p>自分の課題を達成し。メダルを獲得し</p>	 <p>学級の一員としての役割を果たすため</p>	

教師用キャリア・シート【H28】4年

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心をもち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	いろいろなことに興味をもち、好きなことに夢中になる	目標をはっきりとさせ、難しいことでも自分らしく挑戦する	失敗をおそれず、いろいろな方法で目標に向けて努力する	ほかの学年や地域の人とのつきあい方を知り、進んでかかわる	学級の一員として役割を果たし、人や学校に役立つことをする
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで他者とかがわり、理解する時間</li> <li>ねらいを明確にした異学年交流</li> <li>地域とつながる学習活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容指導単元	図工「ほってすって見つけて」(三学期)	国語「係活動リーフレットを作ろう」(二学期)	体育「リズムダンスをつくろう」(二学期)	社会「昔の道具さがし」(二学期)	総合「こまちを訪問しよう」(一学期)
キャリア・ログ ◆手立て(視点) ●児童の姿の記録	<p>◆講師から作品を紹介してもらい、彫刻刀の特徴や使い方を教えてもらいながら、彫刻刀の使い方を練習する(本物や本質に触れる体験活動)</p> <p>●手本の作品を見て歓声が上がリ、興味津々ですべての種類の彫刻刀を使い、彫り跡の違いを確認できた</p>	<p>◆5・6年生に係活動の様子を見せてもらう(憧れや理想のモデルに触れる機会)</p> <p>◆自分たちの係活動をふり返る(自分事として課題をとらえる動機づけ)</p> <p>●5・6年生の係活動の様子を参考に、自分たちの係活動について話し合っ、これまでより熱心に活動できるようになった</p>	<p>◆運動会で踊るダンスの模範映像を見る(ゴールがイメージできる単元構成)</p> <p>●DVDを見ているときに、「かっこいい」「踊ってみた」という声が上がリ、運動会で踊るダンスへの意欲がもてた</p>	<p>◆道具の写真や実物を見て使い方を想像し興味をもつ(自分事として課題をとらえる動機づけ)</p> <p>●「これ知ってる」「何だろう」など興味深そうな様子だった</p>	<p>◆これまでの4年生がこまちを訪問していることを知る(自分事としてとらえる動機づけ)</p> <p>●兄弟の話や聞いていた児童もいて、今度は自分たちがお年寄りに楽しんでもらいたい、交流して喜んでもらいたいという意欲をもつことができた</p>
	<p>◆版に表わすものを決めて下絵を描き、彫る部分を決める(選択と自己決定の場や時間)</p> <p>●好きな生き物や風景など、木版画で表したいものを自由に決めて、下描きをした</p>	<p>◆書く内容を考えて、それに合わせた写真の準備を計画する</p> <p>●アップとルーズを考え、自分の書きたい内容にあった写真を撮ることを意識しながら、実際に係活動に取り組んでいるところを交代で写真をとった。</p>	<p>◆場面ごとに練習をして、グループで自主練習をする(課題に対して試行錯誤しながら取り組む時間)</p> <p>●お互いの動きを見合っ、アドバイスし、くり返し練習していた。</p>	<p>◆学校にある昔の道具を活用したり、家庭にある昔の道具を持ってきてもらったりして、実物を見る</p> <p>●実物をさわったり見たりすることでより興味関心が高まった</p>	<p>◆グループごとに、どんな出し物やゲームを行うか話し合う(役割を明確化し、分担・協力する場面)</p> <p>●各グループから「マジック」「魚釣りゲーム」「くじ」などが出来た。複数のグループが希望したのもあったが、同じものが重なると楽しんでもらえないのではないかと意見が出て、話し合い調整をすることができた。</p>
	<p>◆彫り方を工夫しながら表す(「～たい」を見つけて、こだわり続ける意欲付け)</p> <p>●黙々と木版作りに取り組み、自分の作りたい版画のイメージにそって、様々な種類の彫刻刀を使って彫り方を工夫していた</p>	<p>◆文章の組み立てを考える</p> <p>●撮った写真の中から使う写真を決めて、「初め、中①、中②、終わり」という文章の組み立てを考えた</p>	<p>◆ある程度ダンスが完成した時点で、自己認識と実際の踊りを比較するため、録画映像を見て話し合う(成長と変容を振り返る場面作り)</p> <p>●自分の動きを客観的に見ることができていた</p>	<p>◆祖母や地域のお年寄りに使い方や当時の様子を聞く(本物や本質に触れる体験活動)</p> <p>●一生懸命歩いてきた児童もいたが、身近にお年寄りがいない児童もいて、取り組みに差があった</p>	<p>◆集めた情報を整理しさらなる課題をもつ</p> <p>●「実際に使った人から聞いた話が少ない」「もっと話を聞いた方がいい」と言っていた</p>
	<p>◆黒インクで刷って仕上げる。作品を見せ合い、自分の制作活動をふり返る(自分を見つめ自分と向き合う場面)</p> <p>●刷り上がった作品を見て、「うわあ。」とうれしそうな声がかかる場面もあった。彫刻刀を正しく上手に使えるようになったこと、自分のイメージに沿った作品を仕上げられたことなど、満足した様子がうかがえる振り返りが多かった</p>	<p>◆説明する文章を書き、お互いに読み合い表記上の間違いを直し、自分の課題をもつ</p> <p>●下書きを仕上げ、チェックリストをもとにグループで読み合っ表記上の間違いを直し、自分の文章をより分かりやすい文章にするための課題を考え、チェックリストに△で記入した</p>	<p>◆改善点をふまえて、一人一人が意識しながら練習する(再チャレンジの機会)</p> <p>●「ビデオを見て、細かいところまで直せた」という振り返りができていた</p>	<p>◆老人保健施設こまちに行き使っていた人に話を聞く(進んで他者とかがわり理解する時間)</p> <p>●なかなか声をかけられない児童もいたが、施設のスタッフに導かれ相手が決まると、自分から話を聞くことができていた。</p>	<p>◆グループごとに準備を進める(役割を明確化し、分担・協力する場面)</p> <p>●同じグループの友だちと分担・協力しながら、準備を進められた。例えば、輪投げのグループは、輪を受ける台、景品を分担し、必要に応じて声をかけ合ったり手伝ったりしながら作っていた。</p>
	<p>◆5・6年生に読んでもらっ、アドバイスをもらう(さらに高い目標をめざす意欲付け)</p> <p>●個人差はあったが、5・6年生は真剣に読んで課題に対するアドバイスを一生懸命書いていた</p>	<p>◆練習を始めた頃の映像と最新の映像を見比べて成長を実感する(内省の時間)</p> <p>●「しっかりできていてうれしかった」「かっこよくなった」と自分の動きがよくなったことを確認していた</p>	<p>◆道具の変化と人々の思いや願いを紙芝居にまとめる(進んで他者とかがわり理解する時間)</p> <p>●道具を決めて、その道具の使い方や思い出、どんな道具に変化したかをまとめていた。</p>	<p>◆自分たちの取り組んでいること、進み具合、工夫したことなどを他のグループと伝え合う(プロセスの可視化)</p> <p>●「それ、楽しそう」「やってみよう」という感想や「うちのグループももっと頑張ろう」という気持ちをもてた。</p>	
	<p>◆リーフレットの形に仕上げる</p> <p>●書き直した下書きをていねいに清書し、表紙と裏表紙をつけて仕上げ、ほとんどの児童ができてあがりに満足そうだった</p>	<p>◆運動会でダンスを披露し、保護者の反応なども聞いたのち、成果を話し合う(内省の時間)</p> <p>●「まちがえてもくじけないで練習ができた」「練習してきたからきれいでできてよかった」と努力の成果を感じられていた</p>	<p>◆紙芝居を完成し発表し、活動をふり返る(自分の学びを振り返る内省の時間)</p> <p>「こまちのおじいちゃんおばあちゃんに進んでかわって、いろんな思い出が分かりました」「知らないおじいちゃんおばあちゃんに話がきけた。やさしくきけば話をしてくれることがわかった」「おじいさんおばあさんとの関わり方を知った。そのきいた話を紙しばいに生かした」</p>	<p>◆こまちを訪問しお年寄りと交流したあと、活動をふり返る(成果を実感し共有する時間)</p> <p>●「歌を聞いて涙を流している人がいて、そんなに喜んでくれているんだなあと感じた」「おじいちゃんおばあちゃんが楽しんでくれたので、ほくもすごく嬉しかった」「喜んでもらって、がんばって準備してきたよかった」「まだ行きたい」と、多くの児童が充実感を得ることができた。</p>	
キャリア・ショット 最終的な児童の姿を写した一枚					
	夢中になって彫刻刀で彫り進める姿	より分かりやすい文章にしようとして書き直す姿	運動会に向けてくり返し練習する姿	地域の方と進んでかかわる姿	お年寄りの楽しそうな様子を見て喜んでいる姿

教師用キャリア・シート【H28】5年

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心をもち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	選んだことや決めたことにこだわりや自信をもって取り組む	目標を高く掲げ、自分で課題をもち、解決のために工夫して行動する	苦手なことや初めて体験することに失敗を恐れず取り組み、自分の行動をふり返って成長を実感する	進んで地域とかかわり、知識を得、技能を高め、思いを生かす	理想の実現に向け、リーダーシップをとったり役割を果たしたりすることで、人の喜びを自分の喜びと感じる
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで他者とかかわり、理解する時間</li> <li>ねらいを明確にした異学年交流</li> <li>地域とつながる学習活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容 指導単元	国語「広がる、つながる、わたしたちの読書」3学期	図工「組み立て表現を描こう」2学期	体育「組み立て表現」(10月)	総合的な学習の時間「保育園交流」(11月～)	特別活動「係でクラスを盛り上げよう」
キャリア・ログ ◆手立て(視点) ●児童の姿の記録	◆本を薦める方法を知り、これまでの読書を振り返り、友達に薦めたい本について考える。(自分を見つめ自分と向き合う場面) ●低学年、高学年それぞれにあった本を紹介するために読書を進んで行う児童が増えた。	◆運動会の組み体操の絵を鑑賞させ、絵を描く意欲を持たせる。 ●自分たちもこんな絵が描けるのだとやる気を見せていた。	◆運動会でどんな表現活動を行うか話し合う。 ●組み立て以外の演目も出たが、5、6年生で話し合い、みんなで組み立て表現をすることを決めることができた。	◆高学年として半年間縦割り班活動をしてみて、また6年生になるにあたっての悩みや困っていることのアンケートを行い、課題を発見する。 ●アンケートで「6年生のようにできるか」「みんなをまとめることができるか」「新しい1年生のお世話をするのが不安」という意見が上がった。	◆当番は毎日行う仕事、係はクラスを盛り上げる仕事と分け、クラスを盛り上げるための係を考える。(役割を明確化し、分担・協力する場面) ●クラスみんなが仲良くできるような係をみんなで考えていた。
	◆友達に一番伝わると思う、本を薦める方法(ポップ、ポスター、本の帯等)を選び作る。(自己決定) ●どのようにしたら伝わりやすくなるのかこだわりをもって作業をしている姿が見られた。	◆一番の組み立てでのお気に入りポーズや組み立ての「テーマ」が表れているポーズを決めて写真を撮る。 ●一番気に入っているポーズの角度を試行錯誤してお互いに撮り合っていた。	◆自分たちのめざすゴールの姿を考える。 ●どんな運動会にしたいか、どんな組み立てにしたいか、終わったときどんな姿になりたいかを考え、意欲的であった。	◆不安を解消するためにどんなことができるか考える。 ●6年生にコツを聞く、新しい1年生に会いに行くと仲良くなるなど意欲的な意見が出た。実際に6年生にコツを聞いてくる児童もいた。	◆活動計画書を書く(プロセスの可視化) ●活動計画書を書くことにより、計画的に係活動を行うことができ、活動があまり行われていない係が減り、みんなが楽しめる場面が増えた。
	◆読んでみたくなる推薦文に投票し、「5年PR大賞」を決定し、伝わりやすい推薦文とそうでない文の違いを考える。 ●時間の関係でグループでの話し合いに変更。お互いに意見を伝え合い、良い推薦文はどんなものか考えていた。	◆アートカードで作品を鑑賞し、絵から伝わってくること、「気持ち」が感じ取れるという事を知り、自分が表現したい「気持ち」を考える。 ●作品で伝えたいイメージをどのように表現すると良いか考えていた。	◆一人技の練習に取り組む。ペアで見合ったり家庭で練習してきてアドバイスをし合う。 ●映像を撮り、クラスで鑑賞した。自分の足りない部分を自覚し、家で積極的に練習する児童が多数いた。	◆理想とする6年生になるため、不安を解消させる、また新1年生の不安解消のため保育園訪問プロジェクトを立ち上げる。 ●「目指せ!不安0完べき6年生への道」とプロジェクト名を考え、とても意欲的に活動を捉えていた。	◆1週間に1回活動計画書の振り返りをする。(成果を実感時共有する時間) ●振り返りをすることで、より良い活動にしようと意欲的になった。
	◆1階ホールの読書スペースを活用し、「本を薦めて、みんなが本を読みに来くなるスペースにしよう」と課題を与える。 ●読書スペースを見て、どのようにレイアウトすればよいのか、どうしたらたくさんの方が読みに来てくれるのか積極的に話し合っていた。	◆組み立てをしていたときのイメージと自分のポーズを合体させた作品作りに取り組む。 ●作品の背景に組み体操のイメージしている場面を考える事により自分の理想とする作品に近づいていて、良い作品にしようとさらに意欲が湧いていた。	◆今までに身につけた技を曲に合わせて練習する。 ●1人技を曲に合わせて練習することにより先が見通せ苦手な児童も意欲的に練習するようになった。	◆2年生の生活科のアドバイスを依頼を受け、6年生に聞いたコツを実践してみる。 ●目線やあいづちなどコツは分かっているが、はたかして実践できず、小さい子の世話をすることが大変だということや思い通りに行かないことを実感していた。	◆各係毎にアドバイスや改善点を伝え合う。 ●自分たちでは気づけないことに気づくことができた。
	◆図書室を見に行き、読書スペースの本の置き方を考える。 ●図書室のレイアウトや、書店の写真など読み手を引き付けるためにはどうすればよいのか考えていた。	◆今まで使ってきた技法を取り入れ、さらに自分のイメージの合った作品を制作する。 ●にじみやぼかし、スパッタリングなど技法を取り入れ今まで以上に集中して作業を行っていた。	◆2人、3人、5人などグループ技の練習をする。 ●みんなで協力することにより、声を掛け合ったり、相談する様子が多く見られるようになった。	◆学級全体で接し方のコツを共有し合い、第一次保育園訪問での計画を考える。 ●遊び内容を考える時、楽しく遊ぶことに視点がいきまじ、仲良くなるためのものではない遊びを考えている班もあった。	◆各係毎に2学期の終わりにお楽しみ会を開く。 ●係ごとに出し物をお楽しみ会を開いた。自己満足に終わってしまったグループもあった。
	◆どの学年を対象にするのか、本を薦める方法などを決定し作る。(自己決定) ●低学年用の本が多く、両方挑戦したいという意欲的な児童がいた。	◆自分のイメージが相手に伝わっているか、また絵からどんな印象を受けるか途中で作品鑑賞会を実施する。 ●自分の作品をじっくり見つめていたり、友達の絵も賞賛したりと児童にとって満足のいく作品に仕上がった。	◆グループで自由演技の場面を設け、振り付けを考える。 ●曲をよく聴き、どんな動きにするか休み時間も相談し、取り組む姿がみられた。	◆第一次保育園訪問での成果と課題を話し合い(訪問時の写真や動画をみる)次回の保育園訪問に向けて関わり方や活動内容を考える。 ●写真をみて客観的に自分の姿をみることで新たな課題を見つけることができた。課題を踏まえて接し方のスキルを上げるために1年生と遊ぶ姿が見られた。	◆クラスを盛り上げることができたか、友達同士の仲が深めることができたか振り返りを行う。(内省の時間) ●まだ課題があると児童も感じている。3学期も継続して係活動を行うことにした。
	◆読書スペースのレイアウトを考える。 ●ポップや本を読みやすいように配置することしかできなかったが、1年生に呼びかけをしていた児童もいた。		◆ウエーブや人間おしなど大技を練習する。 ●みんなで声を掛け合い、曲の始まりをよく聞き、動きの速さや手の挙げ方など考えて行っていた。	◆第二次保育園訪問を行い、成果と課題を話し合い、1日入学での新1年生との関わり方や内容を考える。 ●第一次訪問の振り返りを踏まえ、園児との距離や目線、など意識して一生懸命接する姿が見られた。	
	◆振り返りをする。 読書スペースが寒いともあり、人になかなか立ち寄ってもらえなかった。ただ、読書が好きな児童が多数いた。		◆運動会に向けて、音楽を通して練習を行う。 ●曲に合わせて今までより速いペースで動くことに気づき、またカウントしながら行う難しさを感じていた。1人1人が家でもカウントを行い練習に励んだ。	◆1日入学のお世話をする。 ●1日入学の内容を考え、学校の勉強について発表したり、工作して遊んだり、読み聞かせをしたりした。進んで話しかけたり、面倒を見る姿が見られた。	
		◆運動会の振り返りを行う。(成長と変容) ●難しい技などもあったが、1人1人が努力し、協力することで達成感を味わうことができた。	◆新しい1年生のために1年生が楽しく入学できるように準備を行う。		
キャリア・ショット 最終的な児童の姿を写した一枚	 <p>高い目標をもち、挑戦する姿</p>	 <p>友だちと協力し、粘り強く挑戦す</p>	 <p>積極的にかかわり、働きかけたりする</p>	 <p>人の喜びを自分の喜びに感じてい</p>	

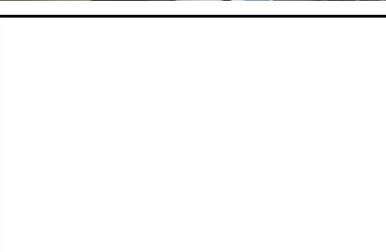
教師用キャリア・シート【H28】6年

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心をもち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	選んだことや決めたことにこだわりや自信をもって取り組む	目標を高く掲げ、自分で課題をもち、解決のために工夫して行動する	苦手なことや初めて体験することに失敗を恐れず取り組み、自分の行動をふり返って成長を実感する	進んで地域とかかわり、知識を得、技能を高め、思いを生かす	理想の実現に向け、リーダーシップをとったり役割を果たしたりすることで、人の喜びを自分の喜びと感じる
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年交流や地域とつながる活動</li> <li>かかわり方のスキルや自信をつける時間</li> <li>かかわろうとする思いやかかわった成果を生かす場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容 指導単元	国語「私と本」 (6月)	総合「自分たちの手で里山を生かそう」 (一学期・二学期)	体育「表現運動」 (9月)	国語・総合「ようこそ、私たちの町へ」 (7・8・11月)	総合「たてわり班のきずなを深めよう」 (11・12月)
キャリア・ログ ◆手立て(視点) ●児童の姿の記録	◆これまでに出会った本をふり返り、自分と本の関わりを考える(自分を見つめ自分と向き合う場面) ●読書記録を打ち出したことにより、客観的に振り返ることができた	◆荒れた里山の現状を見に行き、今後の進め方を話し合う(自分事として課題をとらえる動機付け) ●ウォークラリーに使うかどうかは別として、整備した方がよいと意見がまとまった	◆昨年度までの表現を振り返り、今年度の方向性を決める ●挑戦したいという意見が多く、話し合いの結果、組み立て表現の内容を変えることで合意した	◆小野のよさをブレンストーミングで話し合い、パンフレットを作ることを決める ●小野で生まれ育った児童にとって、よさを考えるのは難しくあまり多くのよさが出なかった	◆一学期のたてわり班活動を振り返らせる(自分事として課題をとらえる動機付け) ●一学期末のたてわり遊びの画像を見せることで、関わり方を振り返り課題を持つことができた
	◆いちばん心に残っている本について考え、推薦文を書いて発信するプロジェクトを立ち上げる(自分事として課題をとらえる動機付け) ●心に残っている本のよさを「いいね」カードに整理させたが、市立図書館への掲示という具体的なプロジェクトをここで提示すれば、必然性がより高まったと思う	◆里山を整備する(本物や本質に触れる豊かな体験活動) ●1本の道を開通させられたことで、「自分たちでできる」という見通しと意欲をもった	◆テーマや内容の話し合いと基本的な技の練習を同時進行で行う	◆小野のよさを地域の人に聞く(地域とつながる活動) ●小野に転居してきた人や小野に時々来ている人などを探して聞くようにすることに決めた	◆二学期の行事でのかかわり方を考えさせる ●焼きいも集会での活動の仕方やたてわり班遊びの方法を工夫することができた
	◆グループ読書を受けて、各自の本についてのよさを意見交流し、自分が読み手に伝えたいことを明確にする(「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け) ●「いいね」カードを使って話し合いをさせたことにより、よさを明確にすることができたが、動機付けが甘かったため、突っ込んだ意見交流ができない班もあった	◆里山の整備(2回目)を行う ●整備する場所を絞り、3つのルートを使えるように整備できた	◆練習の様子は動画で撮影し、前回の動きを振り返ってから練習に取り組むようにする ●自分の姿を見ることで、意欲付けとなり、課題も見つかった	◆目標や目的を話し合い、取材対象を決める ●子どもたちが思いつかなかったよさも取材できたので、外部に発信したいという思いを持つことができた	◆一年生の生活科学学習を応援する企画を提案する ●一年生が6年生の力を借りて、お手伝いを上達させたいと言っていることを伝え、「一年生をヒーローにしよう大作戦」を行うことになった
	◆「森へ」を読んで、作品のよさについて話し合うとともに、いちばん心に残っている本の紹介のしかたを学ぶ	◆ふるさとウォークラリーを行う ●自分たちで開いたコースを使えたという満足感を得られた	◆児童がグループで創作する場面を用意する(課題に対して試行錯誤しながら取り組む場面) ●都市生活を表現するために、三拍子の曲に合わせた動きを試行錯誤していた	◆実際のパンフレットを参考に内容や構成を考える	◆仕事の間やコップの教え方を話し合う ●一年生の活動内容に合わせ、得意な者でグループを作ることで意欲的に考えることができたが、ただ家庭で手伝いをしていない児童は難しかった
	◆「森へ」を読んで、作品のよさについて話し合うとともに、いちばん心に残っている本の紹介のしかたを学ぶ	◆里山の活用方法を話し合い、調べて試してみる(探究心をくすぐる場や時間) ●竹の活用について調べ、竹製ベンチなどを作ってみたが、難しいことに気がついた	◆表したい思いを体で表現する際に、必要なことを話し合う ●話し合いの時間はとれなかったが、目線や指先などをどうすればいいか助言し、表現に生かした	◆地域に出て取材をする ●取材先の地域の方々には快く受け入れてもらい、満足した様子が見られた	◆一年生にお手伝いのやり方を教える ●6年生がやってみせたり、1年生にやらせてみたりするなど、工夫して教えることができた
	◆図書館員さんから、推薦文の書き方を教わり、生かす(本物や本質に触れる豊かな体験活動) ●図書館員さんが書いた推薦文の例を読んだり、自分が書いた推薦文にアドバイスをもらったりして、よりよい文を書こうとする意欲を持つことが出来た。	◆里山の竹の活用方法を再検討する ●竹製プランターを作って地域を明るくする「小野笑顔満開プロジェクト」を発足させた	◆運動会で発表する ●観客の表情やどよめきなどから、達成感を得た	◆パンフレットを書く ●取材内容に不足があっても、再挑戦が難しかった	◆1年生から報告を受ける ●1年生の達成感を高めるために、報告を聞いて褒めたり感心したりすることができた
	◆推薦文を推敲し、清書をする ●図書館に掲示してもらい、読んでもらうことを前提にすることで、清書に力がこもった	◆竹製プランターの作品を見せて意欲付けをする(憧れや理想のモデルに触れる機会) ●竹プランターを調べた児童の資料や校長先生の試作品を見てイメージをもち、意欲的に制作した		◆パンフレットを活用する方法を考える ●地域の商店や取材した場所に置いてもらうことにより、そのためにしっかりと書こうとする意欲が生まれた。	
	◆推薦文が図書館に掲示されたことを知らせる図書館使いを紹介し、達成感を得させる ●歓声が上がった	◆パンジーを植えて配布する計画を立てる ●国語で取材した地域の商店や公共機関などに持って行く計画を立て、公務員さんに指導してもらいながら植えることができた		◆富岡製薬場前の「軽トラック市」にパンフレットを提供してほしいという公民館からの依頼に応えることにより、さらに強い動機が生まれた。	
	◆作ったものを地域に配布する ●各所で喜ばれ、児童の自信につながった		◆富岡製薬場まへの軽トラ車でパンフレットの配布を行う ●100部を配りきり、受け取ってくれた人と言葉を交わすなど、かかわりを持つことができた		
キャリア・ショット 最終的な児童の姿を写した一枚					

教師用キャリア・シート【H28】きめ細か

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心をもち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	いろいろなことに興味をもち、好きなことに夢中になる	目標を高く掲げ、自分で課題をもち、解決のために工夫して行動する	失敗をおそれず、いろいろな方法で目標に向けて努力する	ほかの学年や地域の人とのつきあい方を知り、進んでかかわる	学級の一員として役割を果たし、人や学校に役立つことをする
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで他者とかがわり、理解する時間</li> <li>ねらいを明確にした異学年交流</li> <li>地域とつながる学習活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容 指導単元	算数4年～面積の測り方と表し方～ 「校庭を測ってみよう」	行事～小中合同音楽祭～いろいろな音の響き、詩と音楽を味わおう～「ミュージカルに挑戦しよう」456年	算数・学力向上～何度でもチャレンジして合格するぞ～ 「数の達人」456年	音楽4年～思いを歌唱表現につなげよう～ 「敬老会 楽しみ・喜び・えがお・みんなで歌おうプロジェクト」	環境教育～私達の校舎 私達の手で～ 「縦割り班清掃・ピカピカタイム」全学年
キャリア・ ログ ◆手立て (視点) ●児童の姿 の記録	◆「小野小の校庭の広さはどのくらいだろう？」どのようにして広さを比べることができるか考え、面積についての興味・関心を高める。(自分を見つめ合う) ・陣取りゲームで図形の面積の比べ方を考える。 ・面積の単位「平方センチメートル」を知る。	◆昨年度のものを見聴。ミュージカルで小野小のよさを紹介する。 ・作品を作り上げた時の自分の姿をイメージしている(ねらいを明確にする)	◆業前活動 ・数の達人について説明を聞く。 ・検定表を確認する ・家庭学習の充実につなげる(課題について知る)	◆敬老会参加行事で、「お年寄りが楽しみ、喜び、えがお、みんなで歌える歌をとどけよう」 ・敬老会について考える	◆縦割り班における自分の役割を知る ・業前活動で班ごとに集まり、どんな活動を今年度の活動のめあてにするのか考える。(役割の明確化、分担・協力する場面)
	◆長方形と正方形の面積を計算で求める方法、面積を求める公式について理解する。(自分を見つめ合う) ・長方形や正方形を計算で求められる ・長方形を組み合わせた図形の面積を、分割したり、補ったりするなどのいろいろな考え方で求める。	◆小野地区紹介マップを考える。楽曲と場所の選定(探究心をくすぐる時間)6年生が作ったパンフレットを提示する。 ・身近な地域について知っていることを考える。	◆今年度の学習「数の達人」について知る。 ・「学び合いの場」を有効に使い課題解決する方法を探る。(再チャレンジの機会)	◆範唱を聴いて、メロディーをかんじよう。 ・歌ってメロディーを感じる	◆日常における清掃活動の実践 ・自分の役割をはっきりさせ、それぞれの活動の内容を学ぶ。(行動することの中で、リーダーシップ、フォロアシップを感じる)
	◆大きな面積の単位(m <sup>2</sup> , a, ha, km <sup>2</sup> )を知り、辺の長さがメートルの時長方形や正方形の面積の公式を適用することができることを理解する。(こだわり続ける意欲) ・校庭の面積をどのようにして求めればよいか考える	◆自分の役割・担当をはっきりさせる ・豊かなひびきあうよさを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについての自分の意図をもっている。(さらに高い目標)	◆検定カードを確認し、自分の進行状況を確認する。 ・基礎学力がどの程度定着したか、成長を感じる(成長と変容を振り返る場面作り)	◆歌詞と楽譜から「どう歌いたい」を考えよう。 ・歌について調べよう ・自分たちの考えを楽譜に書き込んでみよう ・「どう歌いたい」「それはなぜか」	◆「振り返り」の時間を設けることで成果・課題を共有する。 ・一週間に一度成果と課題を共有することで自分たちの活動を確認し合う。
	◆「他の学校の校庭の広さはどのくらいだろう？他校の4年生に手紙を出そう！」(こだわり続ける意欲)	◆楽曲の旋律を学び、表現方法を考える。 ・旋律の特徴、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じる。(自分で課題をもつ)	◆検定実践 ・10分間という時間を、集中し有意義に使う習慣化する。 (課題に対して、試行錯誤しながら取り組む時間)	◆「こう歌いたい」を実現するために、技術的な指導をする。 ・「こうしたらもっとよくなる」をみんなで考える。	◆「振り返り」のカードをリーダーがまとめ、新学期にむけてのめあてを発表する。 ・班員の成長や課題を班長が把握する。
	◆お互いに見つめあうことで全体の流れがこの方向に進んでいるのか感じる。 ・思いはゴールに向かって高まっているか確認する。(解決のために工夫する)	◆音楽祭チラシを配る ・歌詞の内容を理解し、地域のことを表現したことを地域の方に広く発信する。	◆検定学力テスト ・評価問題に取り組みせ、各学年における「数と計算」のレベルを確認する。(内省の時間)	◆自分たちの思いが十分に表現できているか確認しよう ・グループで聴き合いながら評価する。	◆「振り返り」は、現在の活動をよりよくしているか、一人ひとりの成果を自分のこととして共有し分担・協力しているか確認する。 ・(人の喜びを自分の喜びとして感じている)
		◆本物のミュージカルを鑑賞する。杉並児童合唱団・ロンドンミュージカル(あこがれや理想のモデルに触れる機会)		◆敬老会で発表して、聞いてくださっている人の感想を聞く。 ・アンケートやインタビューをして自分たちの思いが伝わったか感じる。	◆一年間の自分たちの様子を一人ひとりが成果と課題をもつ。 ・それぞれの学年における個人的な成長がみられているか考える。(内省の時間)
		◆本校に披露する。▼中合同音楽祭 ・曲想に相應しい表現を工夫したり、旋律の重なり方を生かして歌ったりして「ぼくらの町」を自分たちの思いをのせて表現する。(創造し、挑戦する力)		◆敬老会の様子をビデオやアンケートから考え、次への発表へつなげる。	
	◆自分たちを振り返る ・ミュージカルに挑戦したことで、高い目標に向けて前向きにチャレンジする心が育っているか。(内省の時間)				
キャリア・ ショット 最終的な児童の姿を写した一枚	 他校に面積調べの手紙を書く	 音楽祭で自分たちの表	 友達の採点をし間違いについて答えをなおし	 一緒に歌ってくれたお年寄りをみて笑顔になった児	 清掃のやり方を真剣に聞く1年生に、丁寧に教える6年

教師用キャリア・シート【H28】教務

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力		好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力
各学年の重点目標	選んだことや決めたことにこだわりや自信をもって取り組む		選んだことや決めたことにこだわりや自信をもって取り組む	選んだことや決めたことにこだわりや自信をもって取り組む
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>• 選択と自己決定の場や時間</li> <li>• 「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>• 選択と自己決定の場や時間</li> <li>• 「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>• 選択と自己決定の場や時間</li> <li>• 「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>
指導内容	『メダカのたんじょう「水の中の小さな生物」』		5年生 12月 「電磁石の性質」	6年生 10月「水よう液の性質」
指導単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動物の発生や成長について追究する能力を育てると共にそれらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、動物の発生や成長についての見方や考え方をもちることができるようにする。</li> <li>「たぶんあまりやっていない小野地区のプランクトンマップを作ろう！」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「電磁石の性質を利用しておもちゃを作ろう」</li> <li>電流の働きについて条件を制御して調べる能力を育てると共にそれらについての理解を図り電流についての見方や考え方をもちることができるようにする。</li> <li>「不思議な仕組みのおもちゃを作ろう！」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水溶液の性質について推論する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り水よう液の性質や働きについての見方や考え方をもちことができるようにする</li> <li>「身近なもので水溶液を酸性・中性・アルカリ性に区別しよう！」</li> </ul>
キャリア・ログ 手立てと児童の姿の記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 川や池に住むメダカは、なぜ餌を与えなくても育つのかを考える。</li> <li>• 川や池の水を調べ、餌となる生物がいるのではという考えを確かめる。</li> <li>◆池の水を肉眼で見せた後、映像資料やデジタル顕微鏡を使って同じ水にいるプランクトンの一例を見せ、意欲的に活動に取り組めるようにする。</li> <li>• 顕微鏡の使い方、プレパラートの作り方を知り川や池の水を調べる。</li> <li>◆自宅近くの川や池、沼、田んぼ等から水を採取して顕微鏡で調べ、見つけたプランクトンをその形や動きを中心にスケッチしたり名前を調べたりしプランクトンカードを作る。</li> <li>◆大型テレビの画面にインターネットからの情報を写してプランクトンの名前や特徴が調べられるようにしておく。</li> <li>• グループ内でお互いに顕微鏡をのぞいてプランクトンをみつけたり、名前がとくいていけるよう協力し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆電磁石の性質を利用したおもちゃの例を画像等で見て、おもちゃ作りへの関心と見通しをもつ。</li> <li>◆インターネット等からおもちゃ作りのアイデアを見つけられるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆薬品等を使わずに5種類の水溶液を仲間分けする基準をグループで考えさせ、意欲的に水溶液を区別する活動に取り組めるようにする。</li> <li>• 他グループの分け方について意見交換することで互いの考えを深めていく。</li> <li>◆飲めなかつたり見た目や臭いでは判断できない場合があることに気付かせ、科学的に区別する方法に関心を持たせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆プランクトンが見つかった場所について小野地区の地図にシールに番号をつけて貼り、掲示する。</li> <li>◆小野地区の地図とともにプランクトンカードにも番号をつけて掲示し、地図に示したシールとプランクトンカードの番号が一致するように掲示する。</li> <li>◆給食前の時間や朝の会の時間を使って、グループ毎に3～6年生の教室に行き、自分達の取り組みを説明して、掲示発表を見てもらえるようにする。</li> <li>• キャリアシートのまとめをして発表する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リトマス紙を使うと色の変化によって科学的に水溶液を区別できることを伝え、意欲的に塩酸・酢・水酸化ナトリウム水溶液・炭酸水・石灰水について実験できるようにする。</li> <li>• 塩酸、酢、水酸化ナトリウム水溶液、炭酸水、石灰水をリトマス紙につけたときの変化の仕方をまとめる。</li> <li>• 変化の仕方に応じて仲間分けする。</li> <li>◆洗剤や飲料水に酸性、中性、アルカリ性の表示があることに気付かせ、水溶液の性質には酸性、中性、アルカリ性があることを興味をもって理解できるようにする。</li> </ul>
				
キャリア・ショット 最終的な児童の姿を写した一枚				
	・完成したプランクトンカードを地図に貼った			・水溶液が紫キャベツの液に反応し、性質によって様々

教師用キャリア・シート【H28】養護教諭

身につけたい力	好きなことやできることを増やし、自分の可能性を開いていく力	高い目標や知的好奇心をもち、前向きに考えて、創造し挑戦する心	粘り強く努力して、達成感を得たり、失敗から学んだりする力	人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力	自分の役割を果たし、人の喜びを自分の喜びに感じる心
各学年の重点目標	自分のできることや得意なことを増やす	上級生や上手な子を手本にして挑戦する	自分で考えたり決めたりしたことを最後までがんばる	自分の気持ちや考えを伝えて、協力して活動する	自分の役割がわかり、活動に取り組む
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ自分と向き合う場面</li> <li>選択と自己決定の場や時間</li> <li>「～たい」を見つけ、こだわり続ける意欲付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに高い目標をめざす意欲付け</li> <li>憧れや理想のモデルに触れる機会</li> <li>探究心をくすぐる場や時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し試行錯誤しながら取り組む時間</li> <li>再チャレンジの機会</li> <li>成長と変容を振り返る場面づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで他者とかわり、理解する時間</li> <li>ねらいを明確にした異学年交流</li> <li>地域とつながる学習活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を明確化し、分担・協力する場面</li> <li>プロセスの可視化</li> <li>成果を実感し共有する時間</li> </ul>
指導内容 指導単元	学活「第1大臼歯を守ろう」1年生				保健委員会「あいうべ体操で心も体もげんきいっぱい」
キャリア・ログ 手立てと児童の姿の記録	◆初めて生える大人の歯（第1大臼歯）の特徴や重要性を理解する。どうに磨けば生え立ての歯をむし歯から守れるか。磨き方を考える。 ●大人の歯をむし歯にしないように、しっかりみがくという気持ちが高まった。				◆小野小の児童が元気に毎日を過ごすためにはどうしたらいいか提案する。 ●学校保健委員会の発表の場を使うことに決まった。
	(給食後の歯みがきタイムを利用して、しっかり磨いてむし歯にしないという気持ちを持続させる。)				◆冬になると風邪やインフルエンザにかかる人が多いことを確認する。 ●うがい・てあらい+αで簡単にできて、予防効果の高いことはないか話しあった。
	◆新しく生えてきた歯を大切にしようという気持ちを持ち、しっかり磨けているか確認する。 ●新しく生えてきた大人の歯を確認し、みがき残しのないようにしっかりみがけるようになった。				◆「あいうべ体操」を紹介する。 ●学校保健委員会で発表をすることに決まった。
					◆小野小の児童の実態を把握させる。 ●自分達でアンケートに答え、さらに全校に実施し実態を把握した。
					◆アンケート結果の報告と「あいうべ体操」を知ってもらうにはどうしたらいいか話し合う。 ●劇や歌にして、記憶に残る発表をしていくことになった。練習を重ね、どうに発表したらみんなに伝わるか意見を出し合った。
					◆学校保健委員会で学校医・PTA役員・児童に発表する。 ●参加者にわかりやすく、しっかり発表することができた。
				◆発表だけで終わることなく、全校に「あいうべ体操」が定着するようにするためにはどうしたらいいか確認する。 ●体操のしかたをクラスに行って発表することや給食前、休み時間後の声かけを行うことができた。みんなに「あいうべ体操」を知ってもらい、実際にやっている姿をみて達成感を得ることができた。	
キャリア・ショット 最終的な児童の姿を写した一枚					